



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月29日

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 竹内 正人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 榎本 実

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 2020年1月30日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,324	5.6	568		601		635	
2019年3月期第3四半期	11,992	8.7	738		791		1,101	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 493百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 1,082百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	225.15	
2019年3月期第3四半期	390.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,702	8,535	36.0
2019年3月期	26,492	9,029	34.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,535百万円 2019年3月期 9,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	1.9	200		150		100	352.0	35.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,830,000 株	2019年3月期	2,830,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,062 株	2019年3月期	5,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,823,973 株	2019年3月期3Q	2,824,125 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				0.00	0.00
第2種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第1種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.0%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オフ  
ファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第2種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.25%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オ  
ファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数  
値

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 受注高及び受注残高 .....	9
(2) 売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くものの、消費税率引き上げによる消費者マインドへの影響や、米中貿易摩擦、中国経済動向、更には英国EU離脱など世界経済においては様々な不確実性があり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような事業環境において、当第3四半期連結累計期間における売上高は、情報システムは増加したものの電子機器の減少及び前連結会計年度においてプリント配線板（前年同期売上高3億20百万円）が事業終息したことから、前年同期比6億67百万円減少の113億24百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

損益は、売上高は減少したものの、原価改善及び諸経費削減に努めたことから、営業損益は前年同期比1億69百万円改善の5億68百万円の損失、経常損益は前年同期比1億90百万円改善の6億1百万円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、営業損益及び経常損益の改善に加え、法人税等が前年同期に比べ減少したことから、前年同期比4億65百万円改善の6億35百万円の損失となりました。

## セグメント別の状況

## 情報システム

情報システムは、防衛省の国内調達が低調に推移している影響がある中で、表示・音響関連装置が堅調に推移し、売上高は増加しました。セグメント損益は、売上高の増加、前年同期にあった不採算案件の減少に加え、原価低減活動の推進により改善しました。

この部門の当期の売上高は、82億31百万円（前年同期比8.7%増）となりました。セグメント損益は、前年同期比3億18百万円改善の1億92百万円の損失となりました。

## 電子機器

電子機器は、接合機器は第3四半期になり海外向け受注高の増加により受注残高は積み上がっているものの、第2四半期累計でのスマートフォン等の情報機器向けの低迷により売上高は減少しました。赤外線機器は景気の不透明感による設備投資の先送りが顕在化する中で、特殊計測用等は堅調であるものの、プラント防災監視用の低迷により売上高は減少しました。セグメント損益は、原価改善、諸経費削減に努めたものの、売上高の減少により悪化しました。

この部門の当期の売上高は、30億92百万円（前年同期比24.5%減）となりました。セグメント損益は、前年同期比2億39百万円悪化の3億75百万円の損失となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「プリント配線板」は、前連結会計年度における事業終息に伴い、廃止しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億89百万円減少し、237億2百万円となりました。これは主に現金及び預金が14億25百万円、受取手形及び売掛金が19億60百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ22億95百万円減少し、151億66百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億22百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億93百万円減少し、85億35百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を6億35百万円計上したためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

なお、当社グループの売上高は季節の変動によって連結会計年度末に偏ることから、通期の業績予想に対し第3四半期連結累計期間までの売上高及び利益の割合が低くなっております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,217	1,791
受取手形及び売掛金	11,753	9,792
たな卸資産	3,813	4,244
その他	190	195
流動資産合計	18,974	16,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	640	601
土地	3,851	3,851
その他（純額）	180	206
有形固定資産合計	4,672	4,660
無形固定資産	109	108
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,628	2,805
その他	136	122
貸倒引当金	△29	△18
投資その他の資産合計	2,734	2,909
固定資産合計	7,517	7,678
資産合計	26,492	23,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,553	2,930
短期借入金	2,700	3,150
未払法人税等	71	24
賞与引当金	362	352
工事損失引当金	6	3
製品保証引当金	88	89
事業移管損失引当金	82	60
その他	2,736	1,491
流動負債合計	9,600	8,101
固定負債		
長期借入金	2,640	2,150
繰延税金負債	516	588
再評価に係る繰延税金負債	994	994
退職給付に係る負債	3,430	3,307
その他	280	24
固定負債合計	7,862	7,065
負債合計	17,462	15,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
利益剰余金	348	△286
自己株式	△15	△15
株主資本合計	6,229	5,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
土地再評価差額金	2,253	2,253
退職給付に係る調整累計額	546	689
その他の包括利益累計額合計	2,800	2,942
純資産合計	9,029	8,535
負債純資産合計	26,492	23,702

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	11,992	11,324
売上原価	9,661	8,917
売上総利益	2,330	2,406
販売費及び一般管理費	3,069	2,975
営業損失(△)	△738	△568
営業外収益		
受取手数料	4	3
技術指導料	4	6
その他	41	4
営業外収益合計	50	14
営業外費用		
支払利息	47	37
その他	56	8
営業外費用合計	103	46
経常損失(△)	△791	△601
特別損失		
減損損失	—	9
固定資産除却損	20	0
事務所移転費用	35	—
特別損失合計	55	9
税金等調整前四半期純損失(△)	△847	△610
法人税等	254	25
四半期純損失(△)	△1,101	△635
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,101	△635



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,101	△635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△0
退職給付に係る調整額	19	142
その他の包括利益合計	19	142
四半期包括利益	△1,082	△493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,082	△493
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,574	4,097	320	11,992
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,574	4,097	320	11,992
セグメント利益(営業利益)	△510	△136	△90	△738

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,231	3,092	11,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,231	3,092	11,324
セグメント利益(営業利益)	△192	△375	△568

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「プリント配線板」は、前連結会計年度における事業終息に伴い、廃止しております。

(重要な後発事象)

(NAJホールディングス株式会社による当社普通株式に対する公開買付けについて)

当社は、2019年12月19日開催の取締役会において、日本産業パートナーズ株式会社の完全子会社である日本産業第5号GP株式会社によって管理・運営される日本産業第五号投資事業有限責任組合が発行済株式の全部を所有するNAJホールディングス株式会社（以下「公開買付者」という。）による当社の普通株式（以下「当社普通株式」という。）に対する金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含む。）及び関係法令に基づく公開買付け（以下「本公開買付け」という。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、本公開買付けに応募するか否かについては、当社の株主の皆様のご判断に委ねることを決議いたしました。

本公開買付けは2019年12月20日から2020年1月24日まで実施され、当社は本公開買付けが成立した旨の報告を公開買付者より受けました。

この結果、公開買付者が2020年1月31日（本公開買付けの決済の開始日）付にて、応募があった当社普通株式1,415,100株全てを取得する見込みとなり、当社の親会社は日本電気株式会社から公開買付者に変更となる予定です。

なお、本公開買付けは、当社普通株式の上場廃止を企図したものではなく、本公開買付け後も当社普通株式の株式会社東京証券取引所市場第二部における上場は維持される方針です。

## 3. 補足情報

## (1) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2019年3月期 第3四半期累計		当四半期 2020年3月期 第3四半期累計		(参考) 2019年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	7,403	7,887	7,233	6,871	11,452	7,869
電子機器	3,666	1,252	3,907	1,971	4,972	1,156
プリント配線板	—	—	—	—	—	—
合計	11,069	9,139	11,141	8,843	16,425	9,026

## (2) 売上高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2019年3月期 第3四半期累計		当四半期 2020年3月期 第3四半期累計		(参考) 2019年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	7,574	63.1%	8,231	72.7%	11,641	66.7%
電子機器	4,097	34.2%	3,092	27.3%	5,499	31.5%
プリント配線板	320	2.7%	—	—%	320	1.8%
合計	11,992	100%	11,324	100%	17,460	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位：百万円)

	前年同四半期 2019年3月期 第3四半期累計		当四半期 2020年3月期 第3四半期累計		(参考) 2019年3月期	
	海外売上高		海外売上高		海外売上高	
情報システム	30		203		134	
電子機器	1,707		977		2,180	
プリント配線板	57		—		57	
合計	1,795		1,181		2,372	
海外売上高の連結売上高に占める割合	15.0%		10.4%		13.6%	